

## 週足



## 長期概況

2021/1/6の安値102.59円を起点とした上昇トレンドは、2022/10/21高値151.94円を頂点とした調整局面から戻りを試す展開が継続。FOMC12月会合において上げ幅を50bpへ縮小(6月～11月会合では4会合連続で.75%の利上げ)したことを受け、金利先高観が弱まったことによるドル売り円買いが進む中、12/20の日銀金融政策決定会合で、長期金利変動幅の上限を0.5%に拡大(従来は0.25%)することを決定。日銀による実質利上げともとれる決定を受けて円買いが加速し、127.22円まで下落しました。FRBの年内利下げ観測が浮上する中、2/3に発表された米1月雇用統計で市場予想を上回る好結果となったことを受け、米労働市場の堅調さが確認されたとともに、2/24(金)に発表された1月米個人消費支出(PCEデフレーター)も予想を上回る結果となったことで、3月と5月の会合でも利上げが続くとの思惑から、戻りを試す展開となっています。

### 【2023/2/27～3/3】

2月第5週のドル円は136.37円から始まり、週前半では米10年債利回りが昨年11月10日以来となる水準まで上昇したことで、136.92円まで上昇しました。ただ、米2月シカゴ購買部協会景気指数や米2月コンファレンスボード消費者信頼感指数などの米経済指標が予想を下回る結果となったことで135.25円まで下落しました。週の後半において、10-12月期四半期非農業部門労働生産性・改定値(前期比年率)や前週分新規失業保険申請件数が予想より強い結果となったことで、米長期金利の上昇とともにドル買い円売りが強まり、週間高値となる137.10円まで上昇しました。

このレポートは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資方針や投資時期等の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。また、このレポートは信頼できるとされる各種データに基づき情報を提供しておりますが、正確性、妥当性等を保証するものではなく、この情報により発生したいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。なお、このレポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがあります。

## 日足



## 今週の戦略

日足ボリンジャーバンドは中心線が上向きとなっており、上昇を示唆しています。  
 また、週足ボリンジャーバンドは、中心線が下向きで、下落を示唆しています。  
 月足ボリンジャーバンドは中心線が上向きですが、 $-2\sigma$ が収斂しており、上昇に一服感がでています。

◆予想レンジ 134.76円～138.17円

注目レート		テクニカル
上値②	138.17	・2022/12/15高値
上値①	137.10	・3/2高値
下値①	135.25	・3/1安値
下値②	134.76	・1/16安値127.22円か3/2高値137.10円の23.6%押し近辺(フィボナッチ:青)

このレポートは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資方針や投資時期等の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。また、このレポートは信頼できるとされる各種データに基づき情報を提供しておりますが、正確性、妥当性等を保証するものではなく、この情報により発生したいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。なお、このレポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがあります。